



Autumn with the sky clear and blue, and horses growing stout

10月

学校長 中山 光恵

秋晴れのさわやかな季節となりました。秋は上昇気流が起きにくく、また、夏の間には育った木々が地面にあるほこりや土が舞い上がるのを防いでくれるので、空気がとてもきれいなのだそうです。思い切り深呼吸したくなる、とても気持ちのよい季節です。

緊急事態宣言が解除され、4日から通常登校となります。また、学校行事は感染症対策を徹底した上で実施できることになりましたので、10月はスポーツフェスタに向けて取り組む大事な時期になりそうです。子どもたちも大きく成長するチャンス。いろいろなことにチャレンジしてほしいです。

さて、冒頭のタイトル「天高く馬肥ゆる秋」ですが、高学年の子どもたちは何人位分かったでしょうか？読むのは難しいと思いますが、発音を聞いたら、いくつかの単語には気付くでしょうか。

小学校で外国語活動が行われるようになって、ずいぶん経ちます。昨年度からは、全国の小学校中学年で外国語活動が、小学校高学年で英語が教科となりました。

横浜では、国が小学校に外国語活動を導入する前から、外国人講師による「国際理解教室」を実施（昭和62年に始まり平成11年に全校実施）し、外国語を使って異文化を体験的に学習できるようにしてきました。さらに平成20年には、国際理解教室と外国語活動をあわせて「YICA」（Yokohama International Communication Activities;横浜国際コミュニケーション活動）として小学校1年生から外国語活動を開始し、英語によるコミュニケーション能力を育成しようと取り組んできました。現在は1～4年生は外国語活動、5・6年生は外国語科として、引き続きYICAに取り組んでいます。



YICAでは、担任が外国人講師やYICAサポーター（金沢小学校の通学区域にお住いの英語に堪能な4人の方をお願いし、学習の補助をしていただいています）と一緒に学習指導を行います。今年度の外国人講師は、国際理解教室がササキ・ミンファン先生、外国語活動と外国語科がアイシャ・スガイ先生です。外国人講師は日本語を使いませんし、担任も日本語で説明したりはしません。絵や映像、音、ジェスチャー等を駆使したり、外国人講師と担任とで会話のデモンストレーションをしたりしながら、英語の意味や場面の様子を想像できるようにしています。国際理解教室は、小学校6年間で6つの国や地域の外国人講師と交流しますが、今年度は台湾です。楽しみながら学んでいます。